

2 届出排出量及び移動量の状況

(1) 届出状況（別紙2及び別紙3参照）

平成24年度には、平成23年度に県内の事業者が把握した排出量及び移動量について、県内で1,463事業所から届出がありました。

表3 業種別の届出状況

業種名	届出 事業所数	届出物質 種類数	業種名	届出 事業所数	届出物質 種類数
食料品製造業	13	13	電気業	9	8
飲料・たばこ・飼料製造業	4	5	ガス業	1	1
衣服・その他の繊維製品製造業	1	3	下水道業	40	33
家具・装備品製造業	3	10	倉庫業	10	21
パルプ・紙・紙加工品製造業	12	9	石油卸売業	18	8
出版・印刷・同関連産業	11	14	鉄スクラップ卸売業	1	1
化学工業	151	194	燃料小売業	628	9
石油製品・石炭製品製造業	21	42	洗濯業	12	5
プラスチック製品製造業	41	57	自動車整備業	17	6
ゴム製品製造業	8	50	機械修理業	3	2
なめし革・同製品・毛皮製造業	1	1	商品検査業	1	3
窯業・土石製品製造業	22	21	計量証明業	3	3
鉄鋼業	11	28	一般廃棄物処理業（ごみ処分量に限る。）	47	34
非鉄金属製造業	25	35	産業廃棄物処分量	20	34
金属製品製造業	87	36	医療業	4	3
一般機械器具製造業	45	31	高等教育機関	9	8
電気機械器具製造業	59	37	自然科学研究所	29	17
輸送用機械器具製造業	86	44	合計	1,463	225
精密機械器具製造業	6	10			
その他の製造業	4	4			

業種別及び市町村別の届出状況は、次のとおりです。

表4 市町村別の届出状況

市町村名	届出 事業所数	市町村名	届出 事業所数	市町村名	届出 事業所数	市町村名	届出 事業所数
横浜市	442	逗子市	2	綾瀬市	31	開成町	6
川崎市	200	三浦市	5	葉山町	5	箱根町	11
相模原市	114	秦野市	45	寒川町	22	真鶴町	—
横須賀市	61	厚木市	70	大磯町	5	湯河原町	2
平塚市	88	大和市	46	二宮町	1	愛川町	24
鎌倉市	26	伊勢原市	33	中井町	5	清川村	1
藤沢市	67	海老名市	22	大井町	8	合計	1,463
小田原市	50	座間市	21	松田町	2		
茅ヶ崎市	27	南足柄市	15	山北町	6		

※ 真鶴町では届出がありませんでした。

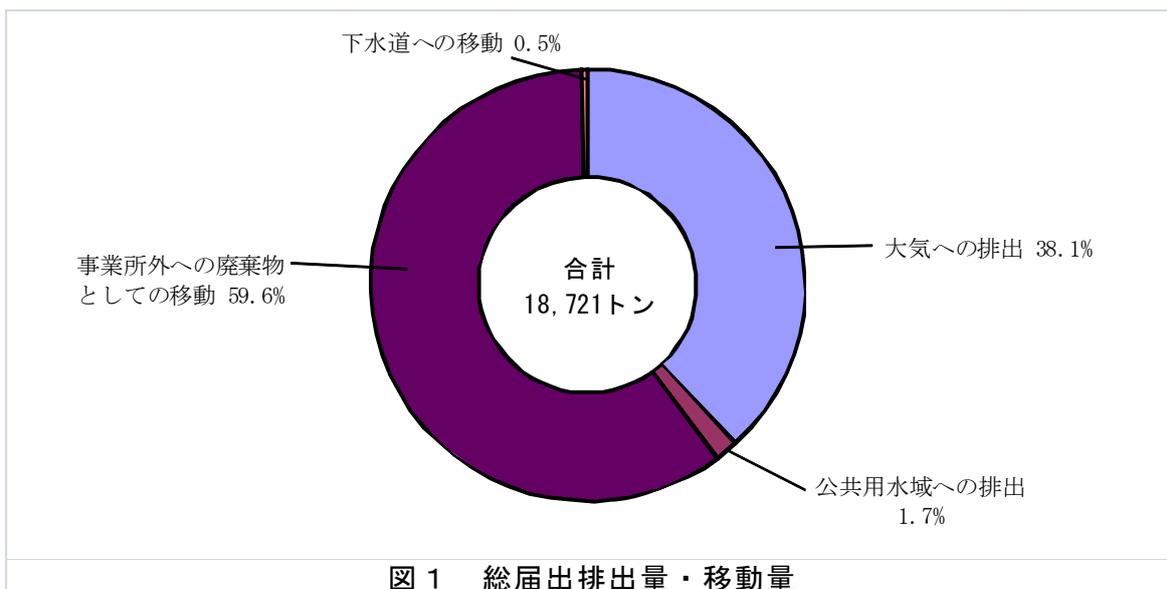
(2) 届出排出量・移動量の集計結果

ア 全物質の届出排出量・移動量

事業所から届出のあった排出量・移動量全体は、総届出排出量・移動量 18,721 トンであり、その内訳は、総届出排出量 7,464 トン、総届出移動量 11,258 トンでした。

総届出排出量の内訳は、大気への排出 7,136 トン、公共用水域への排出 327 トン、土壌への排出 0.001 トンでした。なお、事業所内での埋立処分はありませんでした。

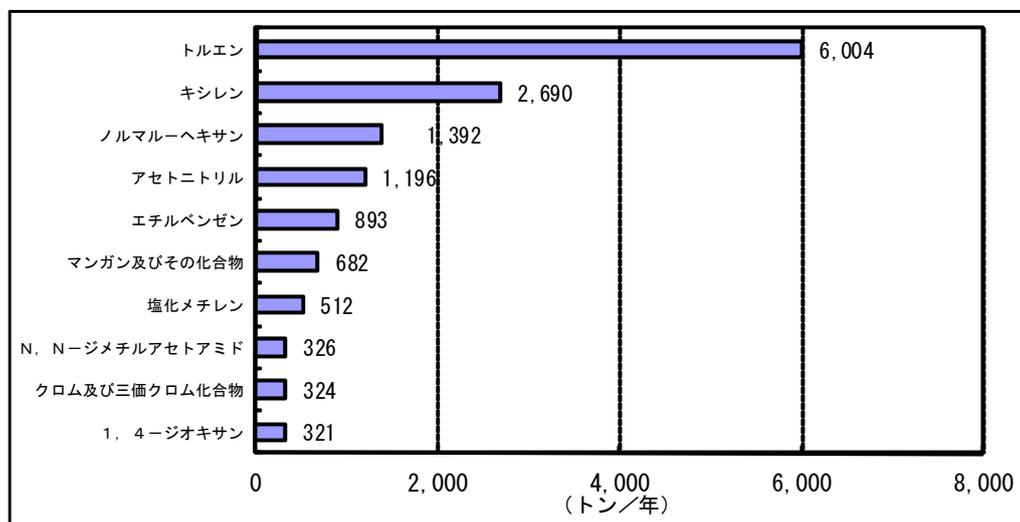
また、総届出移動量の内訳は、事業所外への廃棄物としての移動 11,166 トン、下水道への移動 91 トンでした。



イ 届出排出量・移動量の状況

届出排出量・移動量の多い上位 10 物質の合計は 14,340 トンで、総届出排出量・移動量 18,721 トンの 76.6%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。



ウ 届出排出量の状況

届出排出量の多い上位 10 物質の合計は 6,671 トンで、総届出排出量 7,464 トンの 89.4%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

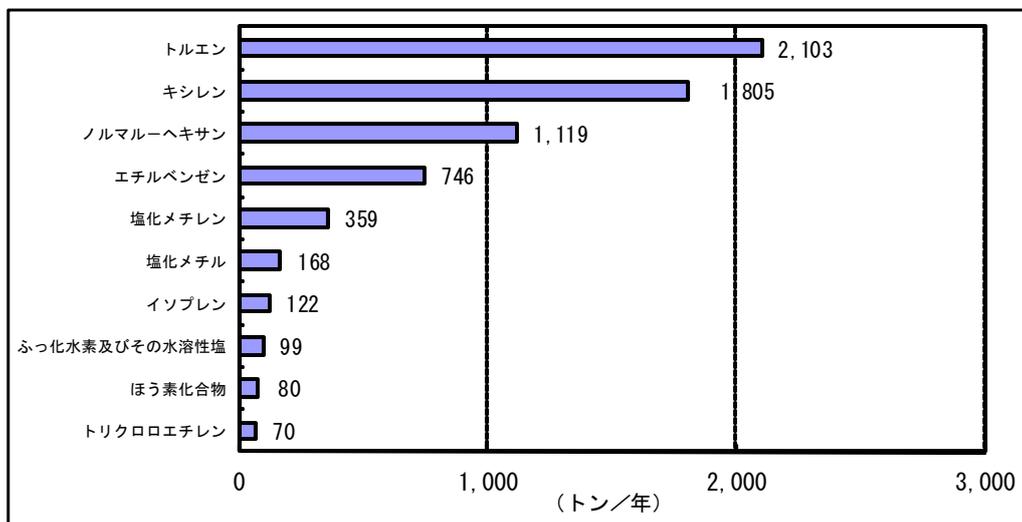


図 3 届出排出量上位 10 物質

エ 届出移動量の状況

届出移動量の多い上位 10 物質の合計は 8,344 トンで、総届出移動量 11,258 トンの 74.1%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

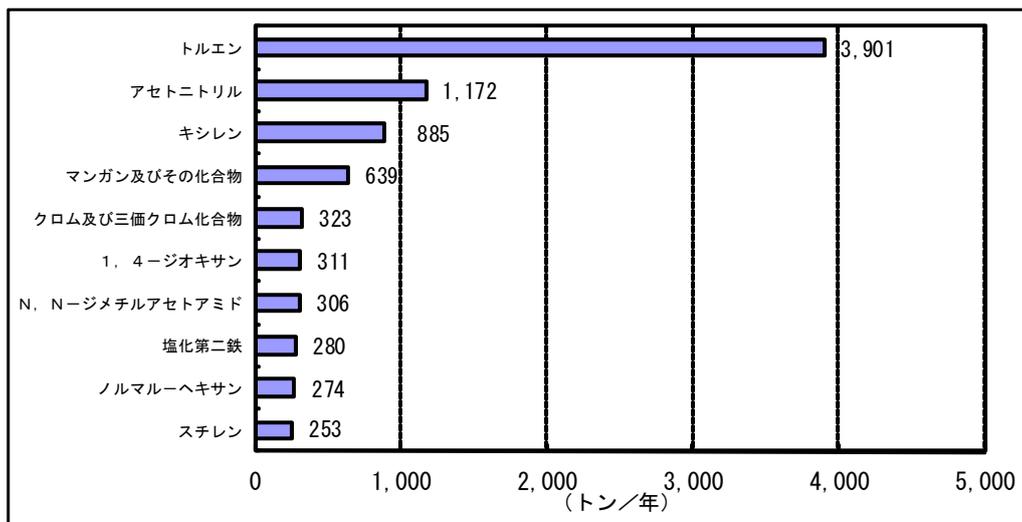


図 4 届出移動量上位 10 物質

オ 届出排出量の排出先ごとの状況

(ア) 大気への排出状況

大気への排出量の多い上位 10 物質の合計は 6,605 トンで、大気への排出量全体 7,136 トンの 92.6%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

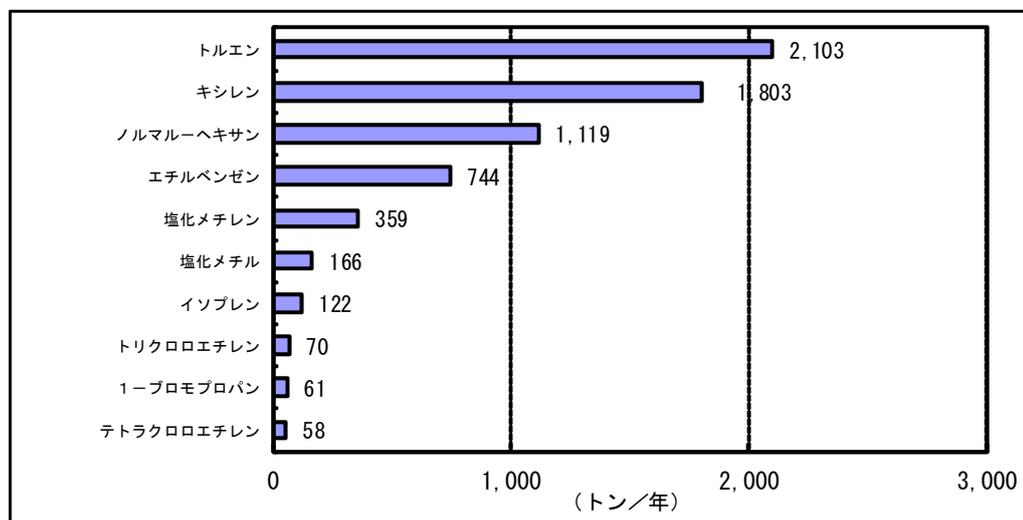


図5 大気への排出量上位10物質

(イ) 公共用水域への排出状況

公共用水域への排出量の多い上位 10 物質の合計は 309 トンで、公共用水域への排出量全体 327 トンの 94.5%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

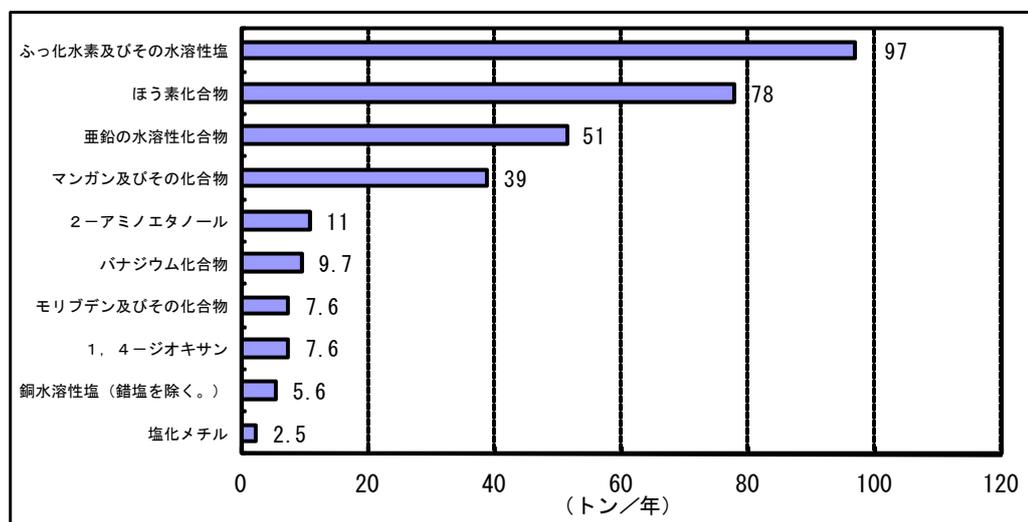


図6 公共用水域への排出量上位10物質

(ウ) 土壌への排出状況

土壌への排出を行ったという届出があったのは、マンガン及びその化合物、ニッケルであり、排出の量は0.001 トンでした。

(イ) 事業所における埋立処分の状況

平成 23 年度は、事業所内で埋立処分を行ったという届出はありませんでした。

カ 届出移動量の移動先ごとの状況

(ア) 廃棄物としての移動量

廃棄物としての移動量の多い上位 10 物質の合計は 8,296 トンで、廃棄物としての移動量全体 11,166 トンの 74.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

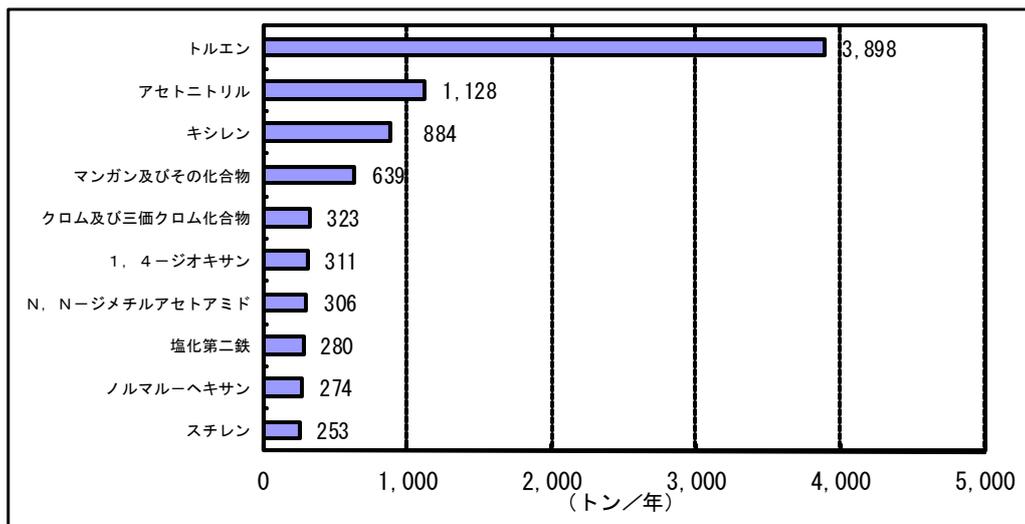


図 7 廃棄物としての移動量上位 10 物質

(イ) 下水道への移動量

下水道への移動量の多い上位 10 物質の合計は 83 トンで、下水道への移動量全体 91 トンの 91.2%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

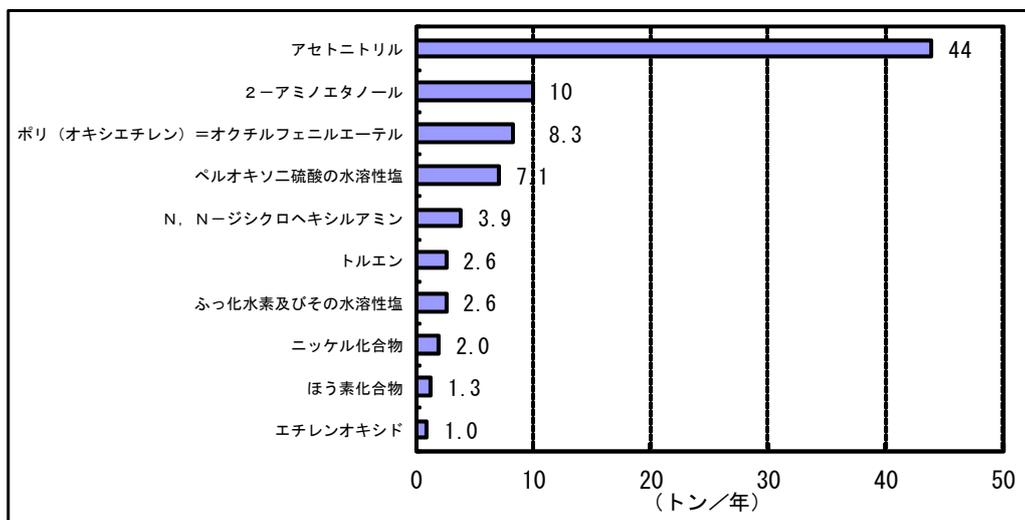


図 8 下水道への移動量上位 10 物質

キ 業種別の届出排出量・移動量の状況

(7) 届出排出量・移動量

製造業からの届出排出量・移動量の合計は 18,115 トンで、総届出排出量・移動量 18,721 トンの 96.8%を占めます。

また、届出排出量・移動量の多い上位 10 業種の合計は 17,303 トンで、総届出排出量・移動量の 92.4%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

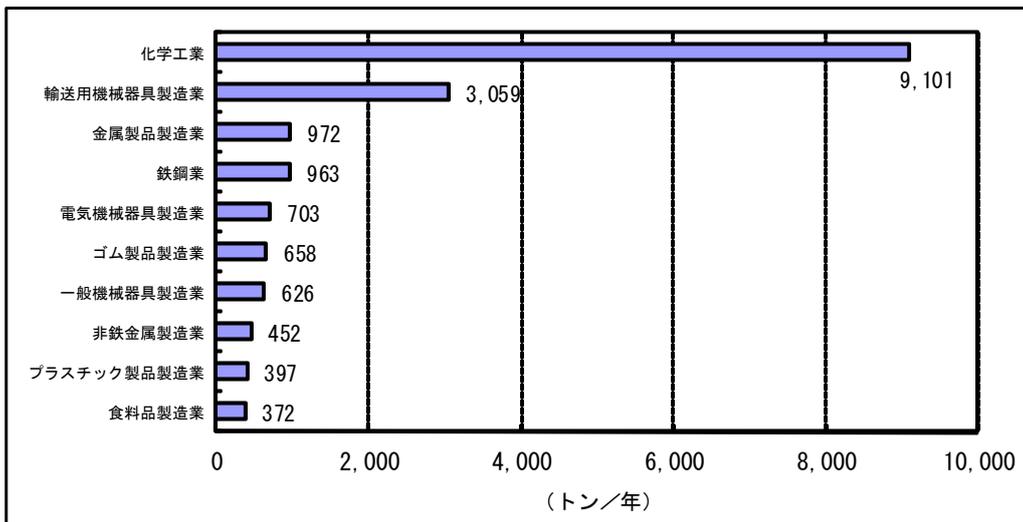


図 9 届出排出量・移動量上位 10 業種

(イ) 届出排出量

製造業からの届出排出量の合計は 7,086 トンで、総届出排出量 7,464 トンの 94.9%を占めます。

また、届出排出量の多い上位 10 業種の合計は 6,865 トンで、総届出排出量の 92.0%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

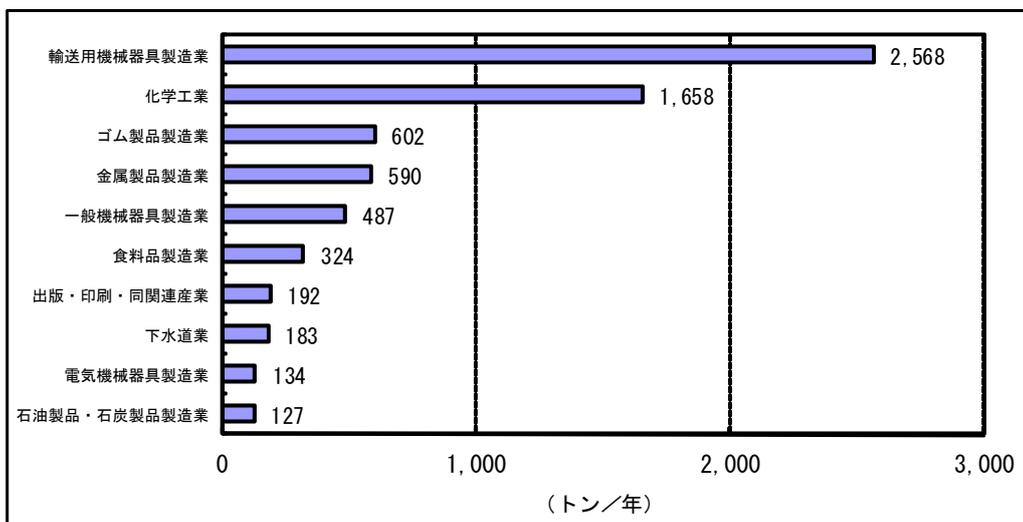


図 10 届出排出量上位 10 業種

(ウ) 届出移動量

製造業からの届出移動量の合計は 11,029 トンで、総届出移動量 11,258 トンの 98.0%を占めます。

また、届出移動量の多い上位 10 業種の合計は 10,887 トンで、総届出移動量の 96.7%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

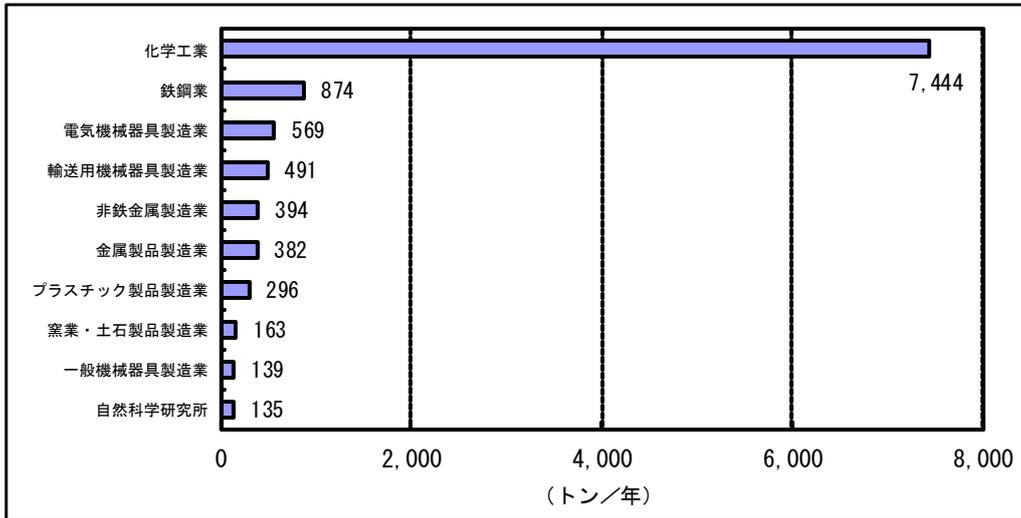


図 1 1 届出移動量上位 10 業種

ク 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量の状況

化管法で定められている人に対して発がん性のある特定第一種指定化学物質 15 物質のうち、本県では次のとおり 12 物質について排出等がありました。

表 5 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量

(kg/年 (ダイオキシン類はmg-TEQ/年))

対象化学物質	届出排出量					届出移動量			合計
	大気	公共用水域	土壌	埋立	小計	廃棄物	下水道	小計	
石綿	0	0	0	0	0	0	5,490	5,490	5,490
エチレンオキシド	15,273	0	0	0	15,273	1,000	0	1,000	16,273
カドミウム及びその化合物	0	9	0	0	10	0	66	66	76
六価クロム化合物	2	31	0	0	32	212	45,163	45,375	45,408
塩化ビニル	7,910	54	0	0	7,964	0	0	0	7,964
鉛化合物	147	1,353	0	0	1,500	2	44,979	44,980	46,480
ニッケル化合物	237	1,821	0	0	2,058	2,010	116,442	118,452	120,509
砒素及びその無機化合物	7	249	0	0	256	0	2,020	2,020	2,277
1,3-ブタジエン	36,410	460	0	0	36,870	0	480	480	37,350
2-ブロモプロパン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリリウム及びその化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンジリジン=トリクロリド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンゼン	36,509	500	0	0	37,010	0	1,592	1,592	38,602
ホルムアルデヒド	16,326	396	0	0	16,722	117	59,370	59,487	76,208
ダイオキシン類	2,790	59	0	770	3,619	530	93,344	93,875	97,493
合計	112,821	4,873	0	0	117,694	3,341	275,602	278,942	396,637